

## 特別講演

### 演題

## 「ふりかえり」再考～何のために「ふりかえり」ですか

講師：公立大学法人福岡女子大学 国際文理学部 准教授  
和栗 百恵 先生  
(わぐり ももえ)

#### 【講師紹介】

民族紛争中だったスリランカでの国際協力の仕事を経て、2002年大学教員に。中央大学、早稲田大学、大阪大学で体験を通し学ぶプログラムづくりに携わり、「ふりかえり」や「体験を通したさらなるアクション」について実践研究を行う。2009年に福岡女子大学・大学改革推進室に着任。11年4月新学部設立と同時に学部共通教育機構所属となり、国内外で正課体験学習プログラム（漁協や農家、猟師、Jクラブ、NPOs、スリランカ村落開発NGO、豪州エコビレッジ等との協働）を展開してきた。現在は、学内に豊富に「散在」した状態となっている準正課・課外活動の棚卸しと正課との関連付けを通し、「体験を通して学ぶ福女大」を打ち出すべく活動している。

福岡女子大学での実践は1年間に渡る密着取材後、2013年フジテレビ「型破りリーダー育成」特集に。2015年福岡県市民教育賞受賞。福岡県女性財団理事、福岡市男女共同参画推進センターアドバイザーを長年に渡って務め、女性の活躍に関する活動にも積極的に関わっている。



福岡女子大学体験学習  
プログラム2020  
プロモーションビデオ

#### 【講演要旨】

大学においてはアクティブラーニング、インターンシップ、サービスマーケティング、PBL等の学びの機会が広がり、そんな大学にやってくる学生たちは高校までに探究学習を通し「ふりかえり」を体験していることが多くなりました。授業や活動で「ふりかえり」の時間を設けても、なんとなく「ふりかえり」をしてしないでしょうか。マンネリ感やふりかえり疲れを抱えていませんか。あるいは、「ふりかえりは『専門知識』とは関係ない」と切り捨ててしまっていないでしょうか。

今回は、「ふりかえり (reflection)」の意味や方法について、立ち止まって検討する機会としたいと考えています。そもそも、何のためにふりかえるのか。学習手法のみならず、変化の激しい社会における生き方をつくり出しうるとされる「ふりかえり」を取り巻く概念や理論、効果的なデザインについての紹介や、参加するみなさんご自身の「ふりかえり」実践の課題感の共有を通して、よりよい実践につながるヒントを持って帰っていただくことが目的です。